会　議　記　録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和４年度第１回　高松市図書館協議会
開催日時	令和４年７月２７日（水）午後３時００分～午後４時３０分
開催場所	サンクリスタル高松　３階　第１集会室
議　　題	(1)　令和３年度事業報告について (2)　令和４年度予算及び事業計画について (3)　サンクリスタル高松リニューアル基本構想について (4)　高松市読書バリアフリー計画の進捗状況等について (5)　その他
公開の区分	■　公開　　□　一部公開　　□　非公開
上記理由	高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針に基づく
出席委員	澤田委員、渡邊委員、吉田委員、大熊委員、岡田委員、笠井委員、 石原委員、徳山委員、福留委員、武田委員、宮本委員
傍聴者	０人
担当課連絡先	中央図書館８６１－４５０１

審議経過及び審議結果
議題１　令和３年度事業報告について 特に意見なし。 議題２　令和４年度予算及び事業計画について 質疑：新規で移動図書館で読み聞かせを行うということですが、どのような内容で行われるしょうか？ 回答：概要は移動図書館で小学校、保育園等へ行って移動図書館を見ていただきながら、一方で司書による読み聞かせを行うようになります。 質疑：図書館要覧の９ページの図書館資料情報の提供や、学校図書館指導員と図書館職員との情報交換の実施というのがありますが、４年度において新たに取り組むものでしょうか？ 回答：昨年度はコロナで行っていませんが、コロナ禍前は学校図書館指導員の研修があり、その時に情報交換をしています。 議題３　サンクリスタル高松リニューアル基本構想について 質疑：学校や地域との連携ということで、近隣の小・中・高・大学の名前が挙がっておりますが、例えば大学とはどんな連携を考えていますか？ 回答：例えば視聴覚ホールを大学の講演に使っていただくとか、そういった連携ができないかということを今後検討していくということです。 意見：民間は入れずに直営と言っているけど、それは理想であって、本当に子どもたちが楽しんで来られる図書館を造ろうとしたら、今の予算でどのくらいのことができるのかと思うと、すごくつらくなりました。もう少し視野を広げて、みんなが楽しんで、図書を喜んで、みんなが高まっていける図書館にするためには、民間を入れないとか、直営じゃなければダメとか言っていないで、どうしたら高松の子どもたちにとって、私たちにとって図書館がよりよい人生の指針になっていくのかということを考えなければいけない時期に来ているのではないかと思います。 意見：コミュニティーセンターの分室で本を借りる際には貸出簿に書かなければいけない。図書館のカードで貸出をできるようにしてほしい。地域と連携というならその辺の展望があればいいと思います。また、私は直営がいいと思います。 質疑：リニューアルには莫大な金額がかかると思いますが、補助金が見込めないという言葉があったと思いますが、どういう意味でしょうか？ 回答：公共施設を建設する際には補助金を利用するのが一般的ですが、文教施設の補助金のメニューは少なく、また今回は改修ですので、補助金が見込めず、市単独財源でやらざるを得ないということです。 意見：リニューアル後の目標ですが、サンクリスタル高松年間利用者数が３２万人ということですが、コロナの影響で生活様式もこれからかなり変わってくるでしょうし、図書館自体も電子書籍など、来館しなくても受けられるサービスがこれから増えてきます。そこで、利用者数を増やさなければならないということは、本当に現実的なのかという気がしました。 議題４　高松市読書バリアフリー計画の進捗状況等について 特に意見なし。 議題５　その他 特に意見なし。